

■発言順に掲載しています。

総括質問(要旨)

①前市長の下でトップダウンでつくられ、市民には意見を述べる機会も保障されずに実行されてきた。
②職員の削減と非正規職員への置き換え、給与カットが繰り返されてきた。職員の仕事量は増えているが、減らされた職員でこなしている。職員は市の財政のコストではなく財産であると指摘した。
③市の基金は現在72億円あり、平成30年の台風の被害やコロナ禍にも対応してきた。行財政改革プランではさらに約30億円積み上げる計画だが、市民のための施策に充てるよう求めた。



中井 良介 (日本共産党)

！前市政時の行財政改革プランの見直しを求める



①物価高対策については、広く市民全体を対象とする施策を要望する。②幼稚園・保育所の再編については、民間が開設しない場合は公立園の増設も検討すること。③小中学校の再編については、職員だけでなく専門家も加え、学校と地域の未来を考える場を設けること。④新庁舎建設については、設計施工分離方式とし、周辺の道路整備など街づくりについても積極的に取り組むこと。⑤泉州山手線・山直東地区の街づくりについては、地域の皆様と丁寧な調整を行い、計画の推進に努めること。⑥地域主体の交通手段の確保については、市内の他の地域でも同様の問題があるので、積極的に情報共有や実証運行を行うことを求める。



宇野 真悟 (無所属フォーラム)

！施政方針について



市政を問う

総括質問とは

定例会において、市長が行う令和7年度の施政方針に対して、会派の代表者(議員)が質疑することを総括質問といいます。議案などの詳細な審査は委員会において行われるため、総括質問においては、大綱(根本的なもの)について質疑が行われます。

一般質問とは

定例会において、議員が市の施策の状況や方針などについて、報告、説明を求めたり質問したりすることを一般質問といいます。

- ！... 市政に対して議員が質問などをしたうえで、特に要望した内容を掲載しています。
- ？... 市政についての議員の質問と、市長など執行機関の回答を掲載しています。

質問の様子をご覧ください

スマートフォンなどでQRコードを読み取ると録画映像(外部リンク:YouTube)が開きます。ぜひ、ご覧ください。8月下旬以降、市議会ウェブサイトの「会議録の閲覧」のページでも詳細をご覧ください。



①市長倫理条例については、市民からの信頼を勝ち取り、さらなる岸和田の発展を要望する。②タウンミーティングは、各小学校区一回ずつに終わらず定例化を要望する。③子育て世帯訪問支援事業・幼稚園の閉園基準・小中学校の適正化については、市民への丁寧な説明と対話を要望する。④日本一のスポーツのまち岸和田をめざし、活力ある岸和田創出を求める。⑤泉州山手線と市内全域の道路整備について地元雇用の創出、若手人材の転出抑制、防災面の向上のためにも一日でも早い完成を求める。⑥市役所庁舎跡地活用について周辺も含めたランドデザイン構築を求める。⑦ローズバスのルートは、今後も必要に応じて改善すべし。



岩崎 雅秋 (公明党)

！施政方針について



●新しい市長の新年度が始まるが、施政方針で最重要課題に掲げられたのはやはり「行財政の健全化」である。平成13年の行財政健全化アクションプランから約25年間取り組んだが、同じ歴史を繰り返している。外部有識者の行財政改革検討委員会は、市役所の組織風土を変革する職員の意識改革が必要と指摘している。また、他市と比較し、保育所、幼稚園、高等学校の関係職員や技能労務職員が非常に多い。一方で、本庁29人、病院40人もの職員が不足している。適切な職員配置を行い、早期退職者や採用内定後の辞退者が多い理由を明らかにし、早急に対策を講じるべきである。市民生活を支える行政組織の強化を求める。



京西 且哲 (次世代政策会議)

！市役所の組織風土を変える意識改革を



●次のとおり要望した。①市民との信頼関係をさらに深めていくために、政治倫理の維持、市民の声に耳を傾ける姿勢を。②オフィス誘致による市内産業の振興と地域経済の活性化に、引き続き取り組むこと。③本市における人口減少への対応という観点からも極めて重要である交通インフラの整備と沿道のまちづくり、企業誘致を一体的に推進すること。④市立幼稚園・保育所の再編について、保護者や現場の声をよく聞くこと。⑤スポーツ振興について、岸和田ならではの特色ある取り組みを。⑥観光振興において岸和田の「食」の魅力を活かすこと。⑦防災Jアラートについては市民一人ひとりに正確な情報を確実に届けること。



中岡 佐織 (大阪維新の会)

！令和7年度施政方針について



9月定例会の日程(予定)

開催日	会議名
8月26日(火)～28日(木)	本会議
9月1日(月)	文教民生常任委員会
2日(火)	事業常任委員会
3日(水)	総務常任委員会
4日(木)	庁舎建設特別委員会
5日(金)	予算常任委員会
8日(月)	本会議
9日(火)～11日(木)	決算常任委員会
16日(火)～17日(水)	決算常任委員会
19日(金)	本会議

- 開会時間は午前10時の予定です。
- 傍聴される方は、当日、市役所新館3階議会受付へお越しください。
- 本会議を、テレビ岸和田、ラヂオきしわだで放送します。詳細は各放送局のウェブサイトをご確認ください。また、委員会は市議会ウェブサイトで生中継します。

●問まだまだ、スポーツをする環境が整っていないと考えるが、今後の社会体育施設をどのように整備していくのか。また、今後の部活動地域移行はどういう取り組みを考えているのか。
●答社会体育施設については、岸和田市立社会体育施設再編基本方針に基づく施設の再編と並行し、市民スポーツの充実・発展に向けた施設整備・改修を進めていく。また、部活動の地域移行については、令和5年度から始まった実証事業を通じて、本市はいち早く取り組みを進めてきたが、7年度は4つの中学校で6つの部活動を対象とし、中学校の校区を越えた合同クラブ活動等を実施する予定である。



反浦 旭 (きしわだ未来)

？日本一のスポーツのまち岸和田について



●具体的でない施政方針で、審議するまでもない内容と指摘。①市長選で「毎年60億円と基金から百億円が使える」と喧伝していたが、数字の捏造で、今年は21億円と基金29億円の不足と判明。②市長宣伝のため、給食費無償化だけに国の物価高騰交付金を4分の3も流用。③差別主義者やヘイトの問題は起きないと、被害者に無関心な差別を助長する答弁。④市長倫理条例は、私の提案した同条例よりも甘すぎる内容。⑤学校統廃合など各種問題は先送り。これらの謝罪を要求しても、市民・議会に真摯に対応しない態度に傍聴者も怒り心頭と察します。選挙時から市民にデマを説明し、開き直るなら、不信任決議を提出するしかありません。



高比良 正明 (にじの会)

！市長選での虚偽公約を断罪する

